



＋ 日赤みえ 2021年度



青少年赤十字リーダーシップ・チャレンジ研修会

CONTENTS

特集 ▶ コロナ禍でも赤十字はとどまることなく活動が続けています！

- 三重県初！ MPU（精神科身体合併症病棟）を開設しました！
- 献血のご予約をお願いします
- 支部長就任あいさつ
- 令和2年度収支報告
- 赤十字WEBミュージアムがオープン
- 日本赤十字社三重県支部では、遺贈・相続財産寄付を受け付けています。
- 自動販売機で赤十字をご支援いただけます！
- アンケートへのご協力をお願いします

コロナ禍でも赤十字はとどまる



コロナ禍 2年目の試み

新型コロナウイルス感染症の影響で、昨年からの取り組みが中止や延期を余儀なくされています。コロナ禍2年目となる今年度は、開催方法を工夫し感染防止対策を徹底することで、日本赤十字社三重県支部・各施設において、とどまることなく活動を続けています。

災害 救護

新型コロナウイルス感染症まん延下での災害救護活動



熱海市の被害の様子



令和3年大雨災害でのこころのケア活動

● 第3ブロック支部災害救護訓練を オンラインで実施

三重県支部では、大規模災害の発生に備え、各県支部、防災関係機関等と連携して訓練を実施しています。

参集型での訓練実施が依然として難しいため、東海・北陸・長野県の8県支部をオンラインで結び、大地震で被害が出た富山県で巡回診療を行う想定で災害救護訓練を実施しました。



災害救護訓練の様子

● コロナ禍における災害救護

令和3年7月1日から大雨により、静岡県熱海市で発生した土石流が甚大な被害をもたらしました。

日本赤十字社では、静岡県支部を中心に救援物資の配布やこころのケア要員の派遣など、被災地に寄り添った支援を行いました。救護班は、新型コロナウイルスを被災地に持ち込まないよう、日常的な検温などの健康管理に加え、活動中のマスク着用、手指消毒、使用する資機材などの消毒を徹底しました。

講習会

コロナ禍での講習の工夫

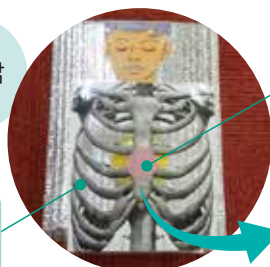
大切ないのちと健康を守るための知識と技術を普及するため、三重県支部では、感染防止対策を徹底のうえ短期講習会を開催しています。

幼児安全法講習には実技の一つに心肺蘇生があります。人形1体に4人程度のグループになり実技を行っていましたが、感染防止のため指導員が行う実演の見学のみとなっていました。しかし、乳幼児の事故は毎年多く発生しており、心肺蘇生の実技はとても重要です。

そこで、受講者一人ひとりが実技を実施できるよう「肋ポ君」と「肋ポ君ジュニア」を作製しました！

講習終了後は、1セットずつアルコールで消毒し、感染防止に努めています。

肋ポ君



心臓は、ポンプ空気入れを使用！
胸骨圧迫は、圧迫したら元の位置に戻すことが大切です。

乳児の圧迫は胸の厚さの約3分の1のため、心臓はボールを使用！

肋ポ君
ジュニア



少しリアルな肋骨で、
圧迫部位である胸骨
の下部を把握！



ソーシャル
ディスタンスを保ち、
肋ポ君で
胸骨圧迫中!!

ことなく活動を続けています！

青少年 赤十字

リーダーシップ・チャレンジ研修会を開催

●リーダーシップ・チャレンジ研修会とは…

例年、三重県支部では、夏休みに「良きリーダー」を学ぶため「リーダーシップ・トレーニング・センター」(小学校・中学校・高等学校別)を開催しています。

昨年度は中止となりましたが、令和3年度は高等学校のみ「リーダーシップ・チャレンジ研修会」と名称も新たにして1日のみ開催をしました。また感染防止のため、合計57名の高校生たちが、北部校は鈴鹿青少年センターに、南部校は県立木本高校に集合しオンラインで各会場を繋ぎました。



貿易ゲーム(北部)

●「気づき・考え・実行する」学びを深めるきっかけに

久しぶりに、または初めて会った高校生たちは、アイスブレイクや炊き出し訓練を通して親睦を深めました。

研修では「貿易ゲーム」を通して国・地域間の格差や国際協力について考えました。また、「今、わたしたちにできること」をテーマに思いをまとめ、それをもとに先生方や先輩からの助言を受けるなど、生徒たちが青少年赤十字の一員として、「気づき・考え・実行する」ことのできる学びを深めることができました。

北部校 …白子高校・飯野高校・久居農林高校・四日市四郷高校

南部校 …伊勢高校・紀南高校・木本高校・東紀州くろしお学園



炊き出し訓練(南部)

青少年赤十字加盟校に出前授業を実施中！

三重県支部では、青少年赤十字加盟校・園に赤十字についてや防災・減災のための出前授業を行っています。本年度は、新講座として「SDGsって何？」を開設しました。

鈴鹿市立桜島小学校の3年生は、地域の人や会社などがどのようにSDGsに取り組んでいるかを調べ、自分たちにできることを実践しようと取り組んでいます。出前授業ではSDGsについてや日本赤十字社でのSDGsの取り組みを紹介し、ゲームを通して学びを深めました。

■青少年赤十字事業は、令和4年度に創設100周年を迎えます。
新規加盟校・園をお待ちしています！



ゲームを通して
SDGsを学ぶ
児童たち

奉仕団

桑名市に新しい地域奉仕団が結成！



結成式の様子

令和3年7月20日、桑名市に新しい地域奉仕団が結成されました。

結成式には、代表の川瀬みち代委員長をはじめ団員71名のうち28名が参加しました。

委員長に就任した川瀬氏は「地域の方やいろんな方に寄り添いながら、団員の皆さんとともに、災害や地域福祉をはじめとした赤十字の活動をしっかりと行っていきたい。」と挨拶されました。

今後は基本理念である人道博愛の精神に基づき、地域に密着したボランティア活動を目指していきます。

三重県初！ MPU(精神科身体合併症病棟)を開設しました！



MPU (Medical Psychiatry Unit) は、日本国内でも数少ないタイプの精神科病床で、「心」と「身体」の病気を並行して治療することに特化した病棟です。原則として、身体疾患を有する方が対象となります。

例えば、

- 身体疾患の治療のため当院に入院している患者さんで、精神症状が不安定になられた方
 - 心の病気によって自らを傷つけてしまい、救急治療が必要になった方
- など

■ MPUでは…

医師、看護師、精神保健福祉士、公認心理士、薬剤師等が連携して診療にあたります。身体疾患の治療終了後も、精神的な入院治療が継続して必要な場合は、専任の精神保健福祉士が専門病院への転院をサポートします。

■ 開設に向けた改修工事を行いました

MPUは精神保健福祉法に則った精神科病床となります。治療環境を整えるため、約4か月に及ぶ工事を行いました。閉鎖病棟であり自由が制限される空間となりますが、患者さんの人権に配慮した環境整備を行いました。



スタッフステーション



MPUで働くスタッフ

献血のご予約をお願いします

医療機関へ安定的に血液を供給し、輸血を受けられる患者さんが安心して治療を受けられるよう、輸血用の血液を十分に確保する必要があります。

有効期間のある輸血用血液を医療機関からの需要に応じて確保していくために、また、献血される方が一時期に集中することによる密集や密接を避けるため献血のご予約をお願いします。



■ 複数回献血クラブ「ラブラッド」よりWEB予約

平成25年10月以降に献血にご協力いただいた方は複数回献血クラブ「ラブラッド」に会員登録いただくと、簡単に全国の献血ルーム・献血バスのWEB予約が可能です。

※ご予約は前日の17時までです。

予約方法

複数回献血クラブ「ラブラッド」会員になると…

- 献血するたびにポイントが貯まり、色々な記念品と交換できます
- 血液の検査結果等の献血記録が WEB にて簡単に確認できます
- 会員限定の色々なお知らせやキャンペーン情報をお届けします

会員登録は
コチラから！



■ 最寄りの献血ルームへ電話予約

- 三重県赤十字血液センター ☎ 0120-05-5632
- 四日市献血ルーム「サンセリテ」 ☎ 0120-39-5863
- 伊勢献血ルーム「ハートワン」 ☎ 0120-25-7821

献血バスでの
ご予約も受付しております。

ご予約可能場所については
三重県赤十字血液センター
ホームページをご覧ください。



日本赤十字社三重県支部
支部長 一見 勝之

※一見勝之三重県知事には、令和3年11月1日付で、支部長に就任いただいております。

新型コロナウイルス感染症が国内はもとより世界的に深刻な問題となっています。日赤では、その発生初期から、全国の赤十字病院を中心に、クルーズ船への医療チームの派遣などに始まり、現在も感染者の受け入れなど、感染拡大防止のために全力を尽くしているところです。

一方で、近年、自然災害が激甚化・頻発化し、発災のたびに新たな課題が浮き彫りになっています。三重県支部では、県民の命と生活を守るために、「変化即応」の姿勢で、さらなる災害対応能力の向上や医療救護体制の強化に努めてまいります。赤十字ボランティア活動、青少年赤十字活動及び救急法等の講習等についても積極的に取り組んでまいります。

また、伊勢赤十字病院では、地域の基幹病院として高度急性期・急性期医療の提供に取り組んでいるところです。今後も、地域に貢献できる病院運営を推進し、赤十字病院として質の高い安全な医療の提供に向けて尽力してまいります。

さらに、三重県赤十字血液センターでは、東海北陸ブロック血液センターと連携し、県内の医療機関に安心で安全な血液製剤を供給できるように365日24時間体制による安定的な供給に努めています。

これからも「人道」を基本理念とし、各関係機関との連携強化を図り、創意と情熱を持って気持ち新たに職員一丸となり効果的な事業の展開に努めてまいりますので、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願いいたします。

活動資金にご協力いただき、ありがとうございました

令和2年度収支報告

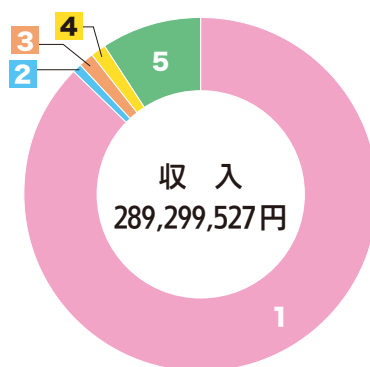
支部・管下施設の令和2年度収支決算については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から文書審議にて実施された評議員会にて、承認をされました。

県民の皆さまからの温かいご支援により、令和2年度も赤十字活動を展開することができました。温かいご支援とご協力に対し厚くお礼申し上げます。



あたたかいご支援
ありがとうございます

項目	金額(円)	(%)
1 活動資金収入	252,335,782	87.2
2 委託金・補助金・交付金収入	2,720,009	0.9
3 繰入金収入	3,689,514	1.3
4 雑収入等	4,664,089	1.6
5 前年度繰越金	25,890,133	8.9
収入合計	289,299,527	100.0



項目	金額(円)	(%)
1 災害救護等の活動	66,906,342	23.1
2 国際救援事業	38,631,537	13.4
3 講習事業(生命と安全を守る講習)	19,358,547	6.7
4 赤十字ボランティア・青少年赤十字	17,206,497	5.9
5 活動資金増強及び広報活動	20,964,875	7.2
6 市町の赤十字活動	36,782,673	12.7
7 血液・医療事業	11,208,196	3.9
8 支部業務運営管理	34,398,153	11.9
9 庁舎・倉庫管理	18,358,573	6.3
10 翌年度繰越金	25,484,134	8.8
支出合計	289,299,527	100.0

※赤十字病院、血液センターは施設ごとの特別会計になっており、この決算には含まれていません。

赤十字WEBミュージアムがオープン

赤十字の記憶を伝えるWEBミュージアムが完成しました。日赤が所蔵・保管する5万点以上の関連史料から137点を写真付きで紹介する「所蔵品紹介」や、日赤の歩みをたどる「赤十字ヒストリー」など内容も充実！

また特別企画第一弾として「感染症と赤十字～治療と予防の歴史～」をテーマに感染症に苦しむ人々に寄り添ってきた日赤の歴史を、貴重な所蔵資料とともに詳しくご紹介しています。

「赤十字WEBミュージアム」サイトはコチラ！

<https://www.jrc.or.jp/webmuseum/>



日本赤十字社三重県支部では、 遺贈・相続財産寄付を受け付けています。



近年、「自分が築いた財産を社会のために役立てたい」「故人の遺産を社会のために役立ててほしい」といった尊いお申し出が増えていきます。
日本赤十字社は、このような尊い思いに応えるために遺贈、相続財産寄付を承っております。

遺贈

遺言によって財産の全部または一部を団体などの第三者に与えることを「遺贈」といいます。
※「遺贈」のご検討は、金融機関・弁護士・税理士・司法書士・行政書士などの専門家へのご相談が安心です。

相続財産寄付

相続により取得した財産の全部または一部を寄付することを「相続財産寄付」といいます。

詳しい資料をご希望の方は、



QRコード

または
お電話 **059-227-4145**
にてご請求ください。

百五銀行・三十三銀行と遺贈に関する協定を締結しました！



百五銀行との協定式

令和3年8月、株式会社百五銀行・株式会社三十三銀行と遺贈に関する協定を締結しました。

当支部は、遺贈に関する専門的な知見を持つ百五銀行・三十三銀行と協定を締結することにより、遺贈の円滑な実現につなげることができるようになります。

遺贈に関するご相談は、お近くの百五銀行・三十三銀行の店舗にてご相談いただくか、下記までお問い合わせください。

百五銀行

☎059-223-2315

三十三銀行

☎059-354-7120

自動販売機で
赤十字をご支援
いただけます！



寄付型自動販売機の設置を通じて
活動資金にご協力いただける方を募集しています。

- 自動販売機の販売手数料の一部を日本赤十字社三重県支部に寄付するものです。
- 赤十字のオリジナルデザイン自販機を設置いただけます。
- 設置にかかる費用はすべて販売会社が負担します。
※設置先のご負担は電気代（月3,000円ほど）のみです。
- 詳細はお電話（059-227-4145）にてご相談ください。

アンケートへの
ご協力
をお願いします

ご協力いただいた方の中から抽選で
10名様にタオルハンカチをプレゼント！



※色は選べませんので
ご了承ください。

WEBフォームまたはハガキでご応募ください。 **締切：令和4年2月21(月)必着**

WEBフォーム

<https://forms.office.com/r/XDAvGFicf0>



ハガキ

- ①お名前 ②ご住所 ③年齢 ④本誌を読まれた経緯（回覧など）
⑤本誌へのご意見・ご感想 ⑥今後掲載してほしい内容
を明記のうえご応募ください。

応募先 〒514-0004 三重県津市栄町 1-891 日本赤十字社三重県支部 広報係あて

※収集した個人情報につきましては、個人情報保護法及び日本赤十字社の保有する個人情報保護規程に則り取り扱います。



日本赤十字社 三重県支部
Japanese Red Cross Society

日赤みえ 発行元/日本赤十字社三重県支部
〒514-0004 津市栄町1-891 TEL 059-227-4145 FAX 059-227-6245
<https://www.jrc.or.jp/chapter/mie/>

発行日：令和3年11月29日

